

(様式第4号)

第4回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和元年7月17日 午後7時00分から午後8時35分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、大草ひろみ副会長、荻原和雄委員、掛川晴一委員、金井修一委員、金子るり子委員、木下嘉章委員、小池文男委員、小山ひとみ委員、櫻井照子委員、桜井保子委員、城下晃代委員、鈴木三千夫委員、高橋みち子委員、馬場美穂子委員、廣田百合子委員、松井智哉委員 【欠席委員3名】
5 市側出席者	金子地域振興課長、宮越教育事務所長、佐藤市民サービス課長、滝沢産業建設課長、内堀建設管理担当係長、田中担当幹、金井丸子・武石上下水道課長 竹内交通政策課長、山田交通政策係長 坂部地域政策担当係長、依田地域担当、掛川主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年7月25日

協 議 事 項 等

1 開 会 (大草副会長)
2 あいさつ (池内会長)
3 協議・報告事項
(1) 上田地域の公共交通の現状について (交通政策課説明)
・ 公共交通を取り巻く全国的な現状及び上田市の現状と課題について説明
【質疑等】
(委員) マイカーの保有率の増加とともに、地域公共交通の輸送人員が減少しているとのことである。特に高齢者のマイカー保有率が多いと思うが、年齢別のデータはあるのか。
(交通政策課) 今回の資料にはないが、国の資料によると免許証の保有率は、高齢者が高く、若年層が低い傾向にある。上田市も同じ傾向ではないかと思われる。
(委員) 免許返納を促進しているが、免許を返納しても代わりの足がないので、返納できない。特定の地域内の足は確保されていても、長距離の移動をどう確保するか、運行本数の減少や乗り換えなどが問題である。
(委員) 豊殿地区で循環バスを自主運行しているが、豊殿地区の戸数や人口はどのくらいか。武石地域と比べてどうか。
(交通政策課) 豊殿地区の人口はおよそ5,100人、世帯数は2,100世帯である。(武石は人口3,500人、世帯1,400世帯) 負担金(1,000円/戸)をいただいているのは1,400戸ほどである。市からは、地域自主運行交通システム補助金として100万円を上限に補助をしている。丸子地域の住民自治組織には公共交通分科会があり、7月末に豊殿地区を視察して情報交換する予定とのこと。また、別所温泉観光協会では、今まで観光客対象のバスを運行していたが、地域住民も乗車できる循環バスの計画を検討しており、地域ごとに住民主体で公共交通について検討を進めてくれている。
(委員) 免許証自主返納促進事業のタクシー券の財源は何か。
(交通政策課) 市の一般会計であり、平成30年度で100万円程支出している。市街地の方はタクシーを利用しやすいが、郊外の方はタクシーだと高額になってしまうため、あまり現実的ではないとの声もある。長野県タクシー協会では、運転経歴証明書を発行してもらった返納者に対して、タクシー代1割引きを県下で実施している。バスの交通体制も含め、こういった支援がよいか、市民の声を聞きながら引

き続き検討していきたいと考えている。

(2) 令和元年度 全体協議について

- ・武石地域の公共交通について（地域振興課説明）

武石地域で今年度から検討を進めている「小さな拠点づくり」について説明

【質疑等】

(会長) 小さな拠点づくりで取り上げるテーマは、まだ決まっていないとのことなので、公共交通の問題が組み込まれるかも未定である。住民自治組織では公共交通における要望アンケートの実施を検討している。今後住民自治組織が運営主体になることもあり得るのではないかと。地域協議会の役割としては、意見を集約して必要であれば市へ要望していくことになる。5～6月に協議した内容も含め、どうまとめていくか次回以降検討していきたい。

(委員) この制度は全国でやっていることなのか。計画する内容によって予算規模もまったく異なるのではないかと。

(地域振興課) 国の地方創生推進事業であり、数年前から実施されている。住民自らが計画、運営していくことが前提のため、自分たちでできる範囲のことを計画する必要がある。

(委員) 武石地域としてどのような地域を目指すのか、どうすれば「住みよい」地域になるのかを考える必要があるのではないかと。何か特別なことをやらなくても、例えば子どもや高齢者を大事にする、助け合いができる、あいさつができる、みんなが明るい地域など、そんな発想があってもよいのではないかと。

(委員) まずは、プロジェクト会議を立ち上げないと進まないと思う。協議はそれからではないかと。

(地域振興課長) プロジェクト会議のメンバーに住民自治組織を選んだ理由は、住民自治組織では申請に必要なまちづくり計画が策定されているためである。

- ・雲溪荘の事業改善提案について

(会長) 前回まで雲溪荘の事業提案について検討してきたが、市の今後のスケジュールをお聞きしたい。

(産業建設課長) 雲溪荘は、地域協議会からの要望により次期指定管理期間3年間の存続が決定している。指定管理者については、非公募で引き続き上田市地域振興事業団とすることが庁内では決定しており、今後選定委員会、議会で正式に決定する。今年度中に、雲溪荘の現状をお知らせするための地域住民への説明会開催を予定しており、その後アンケートを実施したいと考えている。

(会長) 次期3年間でどの程度収支が改善できるか、利用者を増やすことができるかが重要になる。次年度以降の指定管理者が正式に決定したところで、事業改善提案をしていきたいと考えている。提案の方法や時期については、事務局と調整したい。

(3) その他

- ・今年10月以降、上田市まちづくり計画の諮問がある予定とのこと

- ・令和元年度第5回地域協議会の日程について

日時：8月21日（水）午後7時～

4 閉会（大草副会長）